

事業名：合言葉は「地域での繋がり」

特定非営利活動法人TEAM・あげあげ

1 事業が目指すところ

現在兵庫県の東播磨地域で問題となっている4つの項目（地域の高齢化・地域の共生・地域防災・地域コミュニティの再生）について包括的な活動を行うことで「安心して暮らせる地域づくり」を目的とする。

令和4年（2022年）3月末に発足したNPOの行動によって具体化することで昨今の少子高齢化、地域コミュニティの衰退による「地域力の減退」からの回復を目指す。

今年度は法人傘下の自主防災グループ TEAM-3A（チームトリプルエース）との交流のあった高砂市の高校生が同様の自主グループ UniDelightTAKASAGO（ユニデライト高砂）を結成し、当法人のサポートにより9月から地域のイベントに参入した。次年度から本格的にスタートする次の事業展開である地域の力によるユース育成の先駆となった。

2 活動



7月20日(土)TEAM-3A交流会
高砂の自主グループが高齢者施設で開かれた夏祭りに参加し、TEAM-3Aと交流。
自主活動グループ設立に向けて意見交換を
【今年度の活動の特徴】



11月21日(木)保育学生と地域交流
兵庫大学の保育学科が実施した学生と地域団体とのワークショップで子育てに関する地域の問題と解決について意見を出し合った。



12月8日(日)平和のついで
コープこうべ主催のイベントに参加依頼のあったユニデライト高砂が「光が人を繋ぐ」をコンセプトに手作りランタンを実施した。

今年度 TEAM-3A に中学生2名がメンバーとして参加し、上は大学を出た社会人から中学生まで幅広い年齢のユースグループとなった。また懸案であった新たな自主活動グループ UniDelightTAKASAGO が誕生した。自治会や地域団体などがイベントの活動要因として面倒を見ている中・高生のグループとは異なり、メンバーが「地域のために何が出来るか」を考え、創意工夫して活動を展開するという点でこれからの少子高齢化の時代に地域の活性化の原動力となりうる。すでに明石市においてはTEAM-3Aの活動が認知され、いくつかの地域では「地域の力によるユース育成」の提案をしている。



生まれ育った地域の会合でプレゼンする中学生
幼稚園の頃からグループの活動にあこがれて加入。



9月のkaco-LAB フェスで「手作りランタン」を実施して
イベントデビューした UniDelightTAKASAGO

3 事業の成果及び課題

法人としてスタートして3年目。若い世代のサポートを開始して2年目。今年度は中学生の参入や新たなグループの誕生という予想外の好結果がえられた。しかしその反面東播磨地域での認知度が思ったより高まらず、また一部の地域ではこのような新しい流れを受け入れない空気があった。このような点をどう乗り越えるかが次年度からの課題である。

4 今後の展望

次年度から新たなテーマ「地域力によるユース育成」をテーマに地域の事情に合った具体的な提案をしていく。

